

ご本人・ご家族からのご意見等について

(ご本人)

◆ 松浦 育子さん (68 歳)

▶ 居住地：名古屋市 (夫と 2 人暮らし、子どもたちは独立)

▶ 認知症の診断時期：2020 年 (64 歳時) ▶ 現在の要介護認定：要介護 1

(ご家族)

◆ 松浦 信春さん (夫) (72 歳)

＜最近の出来事＞

- ・ 名古屋市主催の若年性認知症講演会に夫婦で登壇した (原稿を書いて読み上げた)。
- ・ GPS について、地域包括支援センターに聞いてきた。
- ・ おむつを取り上げる家族教室に参加することにした (ご本人のトイレは自立)。

＜主なご発言＞

【登壇について】

ご本人	ご家族 (夫)
「また頼まれたらやりたくはないけど、誰もいないならしょうがないね。壇上で喋りたい人も恥ずかしいいいないわね。でも誰かが助かるからね。」	「(登壇を頼まれるなど) 元気そうに見えることも嬉しいことだと思っていかんとね。」

【近隣との関係】

ご本人	ご家族 (夫)
「認知症のことを打ち明けられてもいいんだわ、事実だから。」 「みなさんに迷惑かけてるんだね。気にしてもしょうがないから、迷惑かけることもあるよね。」	「周りの人に認知症のことを打ち明けている。近所の方も『この頃奥さんよく出かけるね』と心配してくれるのでありがたい。」 「今のところはそんなに(周囲には)迷惑かかってないと思うよ。」
「生まれたところだし、散歩のときに近所の人とお話する。『久しぶり。元気?』と挨拶をする。結構お喋りする方だと思う。」	

【家事】

「今のところは大丈夫。最低限のことはやってると思うよ。」	「色々と口は出すけど、できることは一人でやらせるようにしてる。」
「お父さんは何でもできるけど、全部わしがやるからと言われてもちょっと寂しい。」	

【認知症の受け止め】

「なるようにしかならないから気にしないようにしている。」 「しょうがない。逆だったら私が見ないといかんだし。」	「怒ることは怒るよ。『怒ると負が残る』と言われるが、それを覚えていることが嬉しいと思う。」 「仕方ないわな。この頃はだいぶ諦めも出てきた。」 「大変だと思ってるで大変だから、もう少し気楽に思った方がよいかと思う。できることはやってあげたいと思う。」
「いつも主人にはありがたいと思ってます。」 「お父さん、大好きと言ってる。言わないといけないことはその日のうちに言う。」	